

3-14 神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測 (1992年5月～1994年3月)

Variation in Earth Resistivity at Aburatsubo (May, 1992—March, 1994)

東京大学地震研究所

地球電磁気部門

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

神奈川県油壺における岩石比抵抗変化について、1992年4月までの観測結果はすでに報告した^{1)~4)}。今回は同年5月より1994年3月までの観測結果について報告する。

第1図及び第1表に上記期間に油壺において観測された地震に伴う比抵抗変化の記録を示す。これらはいずれも地震時の変化で、前兆的なものは見られない。No.78は十勝地方南東沖の地震による変化で、比抵抗は 0.6×10^{-4} 減少している。No.79は東海道はるか沖の地震による変化で、比抵抗は 0.5×10^{-4} 増加している。これら比抵抗の変化量は地震の規模、震央距離からみると今までのものと大きくかけ離れていない。比抵抗の変化の方向は、10月頃から4月頃までは減少、4月頃からは増加という傾向があり、今回もその様になっている。No.78は低感度(L)のみ、No.79は低感度、高感度の記録で、低感度(L)は高感度(H)の5分の1になっている。地震のマグニチュード、緯度、経度、その他は気象庁の震源速報により記した。

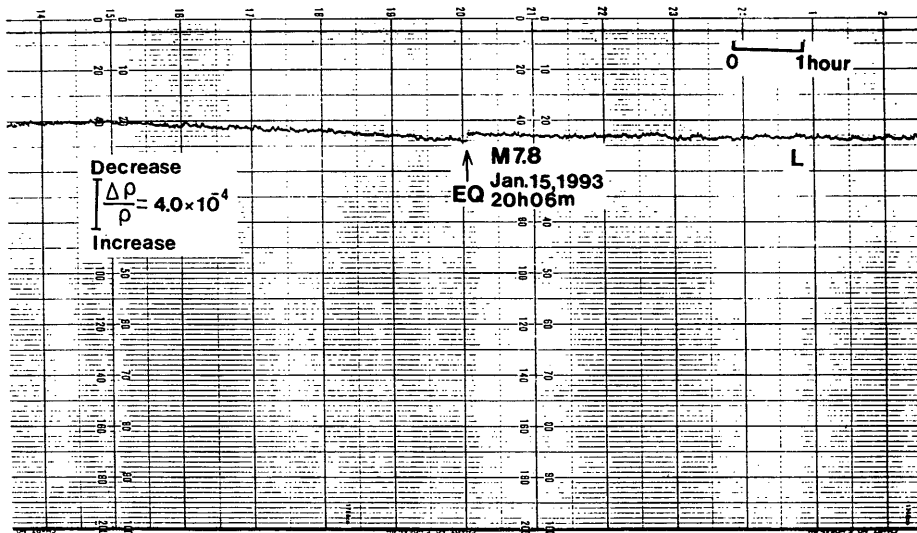
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化，連絡会報，33 (1985)，205-209.
- 2) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，33 (1985)，210-211.，35 (1986)，201-202.
- 3) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化について，連絡会報，36 (1986)，177-179.
- 4) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，38 (1987)，219-223.，40 (1988)，325-330.，41 (1989)，215-219.，43 (1990)，124-130.，45 (1991)，160-162.，46 (1991)，172-175.，48 (1992)，202-204.

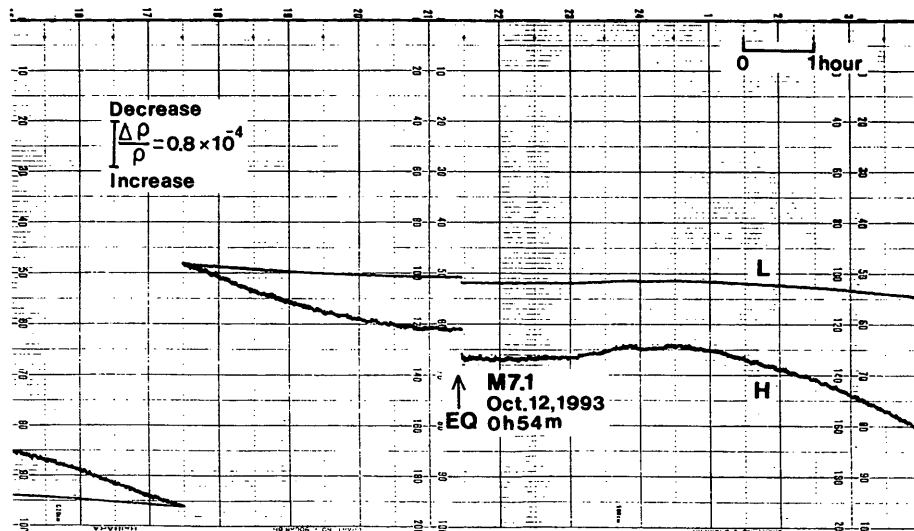
第1表 油壺における比抵抗変化を伴った地震とそれによる比抵抗変化

Table.1 Resistivity changes at Aburatsubo associated with earthquakes.

番号	発震時 日時分	規模(M) 深さ	緯度 経度	震央距離 km	比抵抗変化 $\times 10^{-4}$	震央地名
78	93 115 20h06m	7.8 103km	42° 54' 144 22	940	-0.6	十勝地方南東沖
79	931012 00h54m	7.1 388km	32 01 138 14	370	+0.5	東海道はるか沖



78



79

第1図 油壺において観測された地震に伴う比抵抗変化

Fig.1 Changes in earth resistivity observed at Aburatsubo in association with earthquake occurrence.